



もっと地域でつながろう!



2月



友の会で、楽しく! いきいき★★!

新春のつどい盛大に

北支部ニュース

第43号
2017・2・1
発行人
今道 忍



舞台はてまどり姉妹

長崎健康友の会恒例の「二〇一七新春のつどい」が一月一四日に長崎県勤労福祉会館の講堂いっぱいの参加者で開催されました。参加者は来賓も含め一七七名でした。北支部からは、花丘診療所の前田事務長、江川看護師も参加し三二名でした。今年ゲスト企画として、NPO法人「ノモツち」所属の“てまどり姉妹”の歌謡漫談があり、会場は大いに沸き笑いの渦となりました。

各支部からの出し物では北支部より「ふれあい合唱団」が『よろこびも悲しみも幾年月』を熱唱。また、鈴木支部委員が二胡を演奏しました。

全体ゲームでも大変盛り上がりしました。

最後は「ふるさと」の合唱で締めくくりました。



二胡演奏



ふれあい合唱団



新事務局の紹介



長崎健康友の会事務局の堀江純子さんは一月から北支部の事務局担当になりました。堀江さんは、北支部の活動地域である大園町に在住。小学一年生の男の子のおかあさんでもあります。趣味は、読書と映画鑑賞。でも今は仕事と子育てに忙しくままなりません。花丘診療所や北支部の取り組み時には気軽に声をかけてください。

♪千ヨツと知っ得♪



「弓取式」で誤って土俵に弓を落としたら？

大相撲初場所は、大関稀勢の里が悲願の初優勝。更に日本出身力士としては、1988年3代目若乃花以来、19年ぶりの横綱昇進をも手にしました。

さて、大相撲の中で、大切な儀式の一つに、弓取式があります。もし、この動作の中で弓を落としたら？実は、弓の端を足で踏み、はねあがったところを手に取りあとを続けるそうです。このきまりは、大正時代に常陸島という力士が弓を落とし、偶然に足を使って拾い上げてことが慣習として続けられています。

弓取式は、1952年(昭和27年)1月場所から、毎日、結びの一番取組後に行われていますが、それ以前は、場所の最終日(千秋楽)に限り実施されていました。

(※ちなみに弓取式は、織田信長が安土城を築いた時に相撲大会を行い、勝ち力士に弓を与えたのが始まりといわれています)



今後のスケジュール

2月7日(火)	午前9:30～	「すこやか長崎」折り込み
2月8日(水)	午後2:30～	北支部委員会
2月9日(木)	①午後1:00～ ②午後2:00～	ストレッチサークル
2月14日(火)	午前10:00～	小物づくりサークル
2月16日(木)	①午後1:00～ ②午後2:00～	ストレッチサークル
2月23日(木)	①午後1:00～ ②午後2:00～	ストレッチサークル
2月28日(火)	午前10:00～	小物づくりサークル
	午後2:30～	事務局会議
3月4日(火)	午前11:00～	ふれあい食事会
3月7日(水)	午前9:30～	「すこやか長崎」折り込み
3月8日(水)	午後2:30～	北支部委員会

※2月4日(土)午前11時～ふれあい食事会



各サークル、折込みは花丘診療所2F会議室

「もう結構！」インフルエンザ鶏の声
起つ、座る、老の軋みかどっこいしょ

★今月の川柳

監修 酔蜻蛉

連絡先：長崎健康友の会北支部

(花丘診療所内)

TEL 848・9171

「編集責任者」：溝浦律子